

関商工機械科 & JU岐阜中濃支部 教育活性化共同事業計画

MJ 密着取材
レポート!

12月6日(木)、今回で4回目の開催となる教育活性化共同事業計画が開催されました。この企画は「地元関市のために我々が何か出来ることはないだろうか…?」と、JU岐阜中濃支部メンバーの強い思いから動き出したプロジェクト。若者の車離れが進み自分たちで企画を考え、関市立関商工へ地域活動を提案。そして、賛同して頂いた同校との間で本企画「教育活性化共同事業計画」が実現しました。講師の車に対する情熱ある指導と、生徒さん達が真剣に話を聞き、楽しんで学ぶ姿が印象的でした。この活動が車業界の発展に繋がりを、若者たちにもっと車を好きになってもらいたい、JU岐阜中濃支部メンバーのそんな願いが込められた講習でした。講師の皆さんも講習を受けた生徒の皆さんも有意義な時間を過ごすことが出来ました。



第1章

タブレットを使いエンジンルームをのぞいて点検

- ◆エンジンルームをのぞいて点検
- ◆クルマのまわりを回って点検
- ◆運転席に座って点検



講師の皆さんも
生徒達もやる気十分



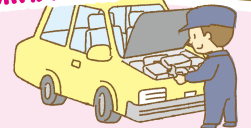
学ぶ側もより真剣に



実際に車のエンジンルーム
を見ながら解説



タブレットを使い
点検箇所のチェック



第2章

ハイブリッド車・水素自動車について



- ◆ハイブリッド車・水素自動車の特徴と構造について解説



実車のトヨタミライを使い
水素自動車の仕組みを学びます



ハイブリッド車は
プリウスを使い解説



ハイブリッド車の構造が
分かるようになっていたため
生徒たちも真剣に聞いてました

第3章

トラブル対処法・スペアタイヤ交換について

◆パンクなどのトラブルについて ◆スペアタイヤの交換実習



タイヤのボルト締めは難しい!!

アルトラパンとミラトコットの2台を使い実習開始



ジャッキアップは想像以上に大変!



みんなが見守る中、タイヤ交換中



第4章

シートベルトコンビンサー・VRゴーグルを使用したシートベルトの重要性体験

◆初参加!JAF岐阜支部による5キロ走行時の衝突事故体験
◆時速55キロ走行時の事故をVR体験



最大4名乗車可能で衝突事故が体感できる!!



体感する前にシートベルトの重要性について解説



たった5キロでこの反応!



先生方も実際に体感し驚きのご様子!

初めてのVRに戸惑いを見せる生徒さんたち...



タブレットで衝突映像を見ましたが、VRで体験するとより怖い

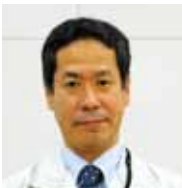


衝突すると、皆さん色々なリアクションをしておもしろい!

ぎふチャンも取材に来ていました



関商工の先生・JAF岐阜支部の方にインタビューしてきました!



関商工 藤井先生

Q. 講習のご感想をお願いします。
A. 1年生の時に機械については勉強していたが、実際に車を使った講義は生徒達が生き生きと楽しんでいるように見えました。特に昨年には無かったVRゴーグルを使用した衝突事故体験は、これから免許を取得する生徒達にとって、車を運転する時の安全性が増したと思います。実際にシートベルトの重要性も理解したので、今後の学習に生かせれば良いと思います。

Q. 初めて参加されましたが、ご感想をお願いします。
A. 大橋さん: 今後車を運転するうえでシートベルトの重要性を体験して頂いたので安全に対する意識は伝わったと思います。リアシートのシートベルトが義務化されているのはあまり認知されていないので免許を取得する前に、このような衝突事故体験によって意識が変われば幸いです。
浅地さん: 大人はリアシートのシートベルトをしない方が多いので、生徒たちにはアトラクション感覚で楽しんで学んでもらえれば幸いです。先生方には改めてシートベルトの重要性が再認識していただけたと思います。皆さんがVR映像に出てきたダミー人形のようにならない事を願っています。



JAF岐阜支部 大橋さん&浅地さん